

バスの乗り方教室の実施状況について

1 概要

マイカー社会の進展に伴い、バスの乗車経験がなく、乗り降りの仕方を知らない児童が増えています。このため、総合学習の一環として、公共交通であるバスに親しみ、バスへの理解と関心を高めるとともに、ボランティア意識と交通安全意識の高揚を図るために、バスの乗り方教室を開催したものの。

2 実施日時・参加人数等

- (1) 平成29年7月3日 場所：青少年センター（大田町細田）
大田小学校2年生72人、教職員4名、交通指導員1名、市職員2名
- (2) 平成29年9月15日 場所：地域防災センター（加木屋町夕霞松）
三ツ池小学校2年生57人、教職員4名、交通指導員1名、市職員1名
- (3) 平成29年11月21日・24日 場所：名和小学校（名和町山東）
名和小学校3年生、4年生、教職員4名、市職員2名

2 内容

- (1) 交通安全について
 - ・実際に運転席へ乗り込むことで、車両周囲の死角について認識
 - ・内輪差により、バスの側面に置いたペットボトルが巻き込まれる様子を見学
- (2) バスの乗り方について
 - ・乗車した後は整理券をとり、すみやかに着席すること。
 - ・満席の時は、手すりや握り棒をしっかりと握ること。
 - ・急ブレーキ等に備え、深く着席すること。
 - ・降車時の仕方（運転手への知らせ方）
 - ・降車時は、バスのドアが開くまで、席を離れないこと。
 - ・降車後はバスから速やかに大きく離れること。

3 今後の実施予定

今年度の実施はすべて完了したものの。

来年度は、小学生だけではなく高齢者なども視野に含めて実施を検討していく。